

# 試合時間及びルール

1. 試合時間
  - : 本戦 → 延長戦 → 体重判定 → 最終延長1分
  - (1) 幼年部 : 本戦1分 → 延長1分 → 3kg以上 → 最終延長1分
  - (2) 小中学生 : 本戦1分30秒 → 延長1分 → 3kg以上 → 最終延長1分
  - (3) 高校生女子・一般女子 : 本戦1分30秒 → 延長1分 → 3kg以上 → 最終延長1分
  - (4) 壮年 : 本戦1分30秒 → 延長1分 → 5kg以上 → 最終延長1分
  - (4) 一般・高校生男子 : 本戦2分 → 延長1分 → 5kg以上 → 最終延長1分
  - (4) 一般上級 : 本戦2分 → 延長2分 → 5kg以上 → 最終延長2分
- サポーター類
  - (1) 男子: 拳サポーター、甲・脛サポーター、膝サポーター、ヘッドギア、金的カップ
  - (3) 女子: 拳サポーター、甲・脛サポーター、膝サポーター、ヘッドギア、チェストガード
  - (4) ヘッドギアは個人で用意する。主催者のヘッドギアがあります。
  - (5) 初級は前面ガード有ります。選手はマウスピースの使用を推奨します。
  - (6) 拳サポーター、甲・脛サポーター、膝サポーターは布製を使用。
  - (7) 女子選手は任意で金的カップを着用できます。
3. 着 衣 清潔な空手衣(白・生成り)を着用する事。
4. 勝 者 (1) 一本勝ち・判定勝ち・相手の反則ないし失格による勝ちにより決定される。
5. 一本勝ち (1) 反則箇所を除く部分への突き、蹴りなどを瞬間的に決め、そのダメージにより相手を倒したとき(3秒)、又はダメージにより、戦意を喪失させた場合。  
(2) 技あり2つで合せ一本となる。
6. 技有り (1) 反則箇所を除く部分への突き、蹴りなどを瞬間的に決め、そのダメージにより相手の動きが一時的に止まったとき、または大きく崩れた場合。  
(2) 足掛技を含めて、相手をきれいに倒し、タイミングよく下段突きを決めた時は技ありとなる場合もある
7. 判 定 (1) 一本勝ち、失格がない場合は主審、副審のうち、過半数の審判の判定できめる。  
判定が決まらない場合は延長戦を行う。  
(2) 延長戦で決着が付かないときは体重判定とし、両者に有効体重差がある場合は、軽い方を勝者とする。(有効差: 幼年1kg差以上/小中3kg差以上/高校・一般10kg以上)  
(3) 体重判定でも決着が付かない場合は最終延長戦にて勝者を決定する。  
(4) 減点1と技有り1で判定のときは、技有り1の者を優勢とする。
8. 反 則 (1) 手・肘による首から上へ(首を含む)の攻撃。  
(2) 金的蹴り、頭突き。  
(3) 倒れている相手に当てる攻撃。  
(4) 背後からの攻撃。  
(5) 拳底、掌手押し、正拳押し、掴み、掛け、投げ、クリンチ、抱え込み。  
(6) 技の掛け逃げ。(蹴ってすぐに倒れることを繰り返す。)  
(7) 何度も場外に逃げた場合。  
(8) 反則は悪質なものを除き注意が与えられる。悪質な反則の場合、減点および失格(応援も含む)。  
(10) その他、審判が特に反則とみなした場合。  
(11) 幼年、小学生、中学生女子は上段膝蹴り禁止(ジュニアチャンピオンシップを含まない)
9. 失 格 (1) 減点を2回重ねた時(注意4回で失格)。  
(2) 試合中、審判員の指示に従わない時。  
(3) 試合時間に遅れたり、出場しない時。  
(4) 粗暴な振る舞いや悪質な試合態度とみなされた時。(応援態度も含む)  
(5) 選手への応援態度が悪質で目にあまるときは、選手の減点または失格。  
(6) 虚偽の級位・体重等の申告があった場合、軽量クラスに出場し当日の軽量で規定体重を超えた場合は失格
10. その 他 (1) 会場にいる人で、粗暴な振る舞いや悪質で目にあまるときは試合会場退場。  
(2) 審判員に対し粗暴な振る舞いや悪質で目にあまるときは試合会場退場。  
(3) 1回目の反則でも試合不可能と判断した場合は反則負け。  
(4) 計量拒否や、その他不正があった場合は失格。  
(5) 判定に対する抗議は一切認めません。
- 11.表彰対象 (1) 3人………リーグ戦を行い優勝のみ(メダル)、2位3位賞状あり  
(2) 6人以下……優勝、準優勝(メダル、賞状)、位、3位(賞状のみ)  
(3) 7人以上……優勝、準優勝、3位、3位(メダル、賞状)